



様式1(主な取組)

活動指標名	整備に向けた調査の実施				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	基本計画 策定 課題整理	複合機能 の導入可 能性検討	財源・事 業方式等 の検討	整備条件 の検討	調査実施	調査実施	100.0%	4,161	順調	基本計画等で算定した概算事業費、需要予測、運営収支等の検証等を行った。
活動指標名	工事の実施				R3年度					
実績値	—	—	—	—	—	—	—			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	—	—	—	—	—	—	—	4,161	順調	概算事業費については、最新の基礎資料により再算定を行った。需要予測については、クラブの意見を踏まえ設定を行ったうえで、他のスタジアムの運営収支を参考に再算定を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画等で算定した概算事業費、需要予測、運営収支等の検証等を行う。</li> <li>整備計画地における「都市計画法」や「都市公園法」の法規制への対応について、引き続き関係者と調整を行い、今後の取組内容の整理を行う。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>概算事業費については、最新の基礎資料により再算定を行った。需要予測については、クラブの意見を踏まえ設定を行ったうえで、他のスタジアムの運営収支を参考に再算定を行った。</li> <li>法規制への対応については、関係者と調整を行っており、引き続き、今後の取組内容の整理を行う。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・財源確保に向けて、Jリーグの施設基準を満たす中での整備費の改善策の検討やランニングコストの改善に向けて試合開催日以外の多目的利用など収益確保策の検討が求められている。

・整備計画地である奥武山公園は、「都市計画法」や「都市公園法」の制限があり、要件緩和に向けて、引き続き関係者と調整を行い、今後の取組内容の整理を行う。

##### ○外部環境の変化

・FC琉球は2018シーズンJ3で優勝し、2019シーズンはJ2昇格に加え、J1への参加資格となるライセンスを取得し、県民のサッカーに対する期待が高まっている。

・平成30年12月18日付けで県サッカー協会を中心としたサッカー関係団体、令和2年10月27日付け県サッカー協会よりJリーグ規格スタジアム整備の早期推進の要請があった。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・財源については、民間資金の活用も検討したが、スタジアムは収益施設ではないことから、民間資金の活用は非常に厳しい状況であり、公的資金が必要となっている。整備費・運営費の改善を図るとともに、スタジアム整備・運営により周辺に発生する経済効果や税収効果等を算出し、スタジアム整備の事業効果を明らかにしていく。

・施設整備事業であるため、建築に関する知識を有する職員配置を行うことにより、事業の進捗管理、都市計画法など法規制に関する関係者との協議が効率的な実施が可能である。他のスタジアム整備を行った自治体では、財源確保前の計画段階から技術職の配置など組織体制を確立している。

### 4 取組の改善案 (Action)

・財源確保に向けて、Jリーグの施設基準を満たす中での整備費の改善策の検討やランニングコストの改善に向けて試合開催日以外の多目的利用など収益確保策の検討を行う。また経済効果や税収効果等を算出し、スタジアム整備の事業効果を明らかにしていく。

・技術職員の配置など大規模プロジェクトを推進するための組織体制の確保に向けて取り組み、事業の進捗管理や法規制の対応協議を効率的に推進する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ウ	国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備	施策	① 国際交流拠点形成に向けた受入機能の強化
			施策の小項目名	○交流拠点施設等の整備
主な取組	大型MICE施設の整備			
対応する主な課題	②国内外の各地域において、MICE誘致競争が年々拡大している中、既存施設では収容が不可能な1万人規模の会議開催案件も発生しており、国際的な交流拠点施設の整備が必要である。加えて、案内板の多言語表示化をはじめとした外国人の受入環境整備にも取り組む必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する。						
実施主体	県、事業者					
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					
		設計・工事・開業準備に向けた取組		新計画のための調査検討 新たな整備基本計画の策定		

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	マリンタウンMICEエリア形成事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。 OR4年度： 策定した基本計画案を元に、民間企業へのサウンディング調査や実施方針などの作成に向けた検討を行う。
県単等	委託	—	—	—	37,755	35,341	38,238	県単等	

  

予算事業名	大型MICE受入環境整備事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： R2年度で事業終了 OR4年度： —
県単等	委託	68,982	14,621	26,323	91,524	—	—		

様式1(主な取組)

活動指標名	新計画のための調査検討 新たな整備基本計画の策定				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	35,341	順調	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

—

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視する必要がある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視しつつ、基本計画に基づく実施方針等の作成の検討を実施する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視しつつ、基本計画に基づく実施方針等の作成の検討を実施する。



様式1(主な取組)

活動指標名	マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	35,341	順調	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。</p> <p>また、「大型MICEエリア振興に関する協議会」等において、大型MICE受入環境整備に向けた関係部局や地元自治体との情報共有等を行なった。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。</p> <p>また、「大型MICEエリア振興に関する協議会」等において、大型MICE受入環境整備に向けた関係部局や地元自治体との情報共有等を行なった。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値										
活動指標名					R3年度					
実績値										
活動指標名					R3年度					
実績値										
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<p>・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、関係機関等と連携し、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施する。</p>						<p>・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、マリンタウンMICEエリアの形成に向けた基本計画等検討業務を実施し、基本計画案の策定及び公表を行った。</p>				





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

—

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視する必要がある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視しつつ、基本計画に基づく実施方針等の作成の検討を実施する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、不動産市況、資材単価等の状況を注視しつつ、基本計画に基づく実施方針等の作成の検討を実施する。